

神芸文第 36 号

令和 6 年 9 月 3 日

一般社団法人 神戸市老人福祉施設連盟
理事長 出上 俊一 様

神戸芸術文化会議議長 宮本 慶子

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素は何かと神戸芸術文化会議の事業に、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、私どもの団体では、外出の機会が限られる特別養護老人ホームなどの福祉施設に入居されている皆さんにも、身近に生で芸術文化に触れていただく機会を提供しようと長年にわたり「芸術文化訪問事業」を実施してまいりました。

具体的には当会所属の会員が訪問を希望される施設にお伺いして、楽器演奏や歌、舞踊などを披露させていただいております。

コロナ禍の影響で、事業を中断せざる得ない時期もありましたが、訪問をのぞむ声が多く寄せられていることから、今年度も、予定どおり実施することといたしました。

つきましては、神戸市老人福祉施設連盟さまには、お忙しいところ誠に申し訳ございませんが、趣旨ご理解いただきまして、希望される施設のとりまとめ方、何卒、よろしくお願い申し上げます。

連絡先：神戸芸術文化会議事務局

大谷 山本

Tel : 078-322-5165

Email: yamamoto6@office.city.kobe.lg.jp

令和6年9月3日

「芸術文化訪問事業」の実施について

1 経緯

神戸の芸術文化関係者で組織する「神戸芸術会議（こうべ芸文）」（議長：宮本慶子、会員数 約 550 名）と神戸市は社会貢献事業の一環として、日頃、身近で直接芸術文化に触れる機会の少ない皆さんにも、是非その良さを味わっていただくため、平成 24 年度から老人福祉施設、平成 26 年度からは母子生活支援施設や障がい児福祉施設も対象に加え、「芸術文化訪問事業」を実施してきました。

今後は、次世代を担う子どもたちにも芸術文化への関心を高めてもらう、そのきっかけづくりができればということで、新たに保育園などの児童福祉施設を対象に加え、本年度から本格的に実施することといたします。

2 実施要領（予定）

(1) 実施時期

令和 6 年 10 月～令和 7 年 3 月

(2) 対象施設

老人福祉施設・児童福祉施設など、全体で約 30 施設程度を予定
（希望多数の場合は抽選）

(3) 実施内容及び方法

- ・実施を希望する施設は希望シートと提案された訪問事業プログラム（音楽、舞踊など）の中から希望する訪問事業プログラムを選択し、団体を通して主催者に提出
- ・提出された希望をもとに訪問する施設と訪問する会員を主催者側でマッチング
- ・マッチングが決まれば訪問する会員と施設間で事前に直接打合せを行い、実施日に会員が施設を訪問してプログラムを実施

(4) その他

- ・訪問先施設に活動に要する費用（謝礼等）をご負担いただくことはありません。
- ・訪問するのはこうべ芸文会員を含む 1 人以上のグループ

<主催者>

神戸芸術文化会議、神戸市

<事務局>

神戸市文化スポーツ局文化交流課内 神戸芸術文化会議事務局 担当：大谷・山本

TEL：078-322-5165 FAX：078-322-6137

Eメール：yamamoto6@office.city.kobe.lg.jp